

マイスターセレクト コモディティ戦略ファンド マンスリーレポート

基準日: 2011年12月31日 作成日: 2012年 1月11日

ファンドの概要

●商品概要

設定形態: 合同運用指定金銭信託型・積極運用型
 運用開始日: ポートフォリオA~D 2008年6月16日
 信託期間: 2008年6月16日から2015年5月31日まで
 決算日: 5月31日
 申込単位: ポートフォリオ毎に50万円以上10万円単位
 申込期限: 2015年3月27日までの毎週最終営業日
 参加手数料: 申込金額の3.15%(税抜3.0%)を上限
 解約単位: 各ポートフォリオにおける保有口数全部
 : ※部分解約はできません。
 解約申込期限: 2015年3月27日までの毎週最終営業日
 解約手数料: 解約金額の1.0%
 ポートフォリオの変更: 毎週1回、ポートフォリオの変更を手数料無料で行なうことができます。ポートフォリオの変更は、変更前のポートフォリオの解約と変更後のポートフォリオの申込を同日に行います。ポートフォリオの変更のための解約単位はポートフォリオ毎に保有口数全部とします。
 変更申込期限: 2015年3月27日までの毎週最終営業日

●ファンドの特徴

構成比率と運用方針の異なった「エネルギーセクター(日米の商品先物市場に上場されている原油、ガソリン、灯油等)重視」、「貴金属セクター(日米の商品先物市場に上場されている金、銀、プラチナ等)重視」、「穀物セクター(日米の商品先物市場に上場されているとうもろこし、大豆、小麦等)重視」、「バランス重視」のブル型4種類のポートフォリオから、投資家の判断で選択が可能な信託型商品ファンドです。(※当ファンドの信託財産の減少に伴い日米両方の商品先物市場で運用を行うことが困難となっていることから、2010年6月1日より米国商品先物市場での運用を一時停止し、国内商品先物市場でのみ運用を行っております。)

「バランス重視」のポートフォリオA(ブル型)ではエネルギー及び貴金属セクターにそれぞれ35%、穀物セクターに30%の割合で投資します。ポートフォリオB、C及びD(いずれもブル型)では重視する1つのセクターに60%、残り2つのセクターにそれぞれ20%の割合で投資します。

ブル型のポートフォリオは、投資対象に対して買いのポジションを保有し、価格上昇による収益の獲得を追求します。

ファンドの状況

●純資産総額: 411,631,518 円

●基準価格及び騰落率

ポートフォリオ	基準価格	期間騰落率				
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
ポートフォリオA バランス重視ブル型	6,500.91 円	-3.82%	-2.92%	-10.65%	-5.89%	-34.99%
ポートフォリオB エネルギーセクター重視ブル型	5,891.03 円	-2.73%	-0.34%	-9.65%	-3.57%	-41.09%
ポートフォリオC 貴金属セクター重視ブル型	7,833.00 円	-6.29%	-4.02%	-9.48%	-6.06%	-21.67%
ポートフォリオD 穀物セクター重視ブル型	5,543.37 円	-1.74%	-5.24%	-14.14%	-9.33%	-44.57%

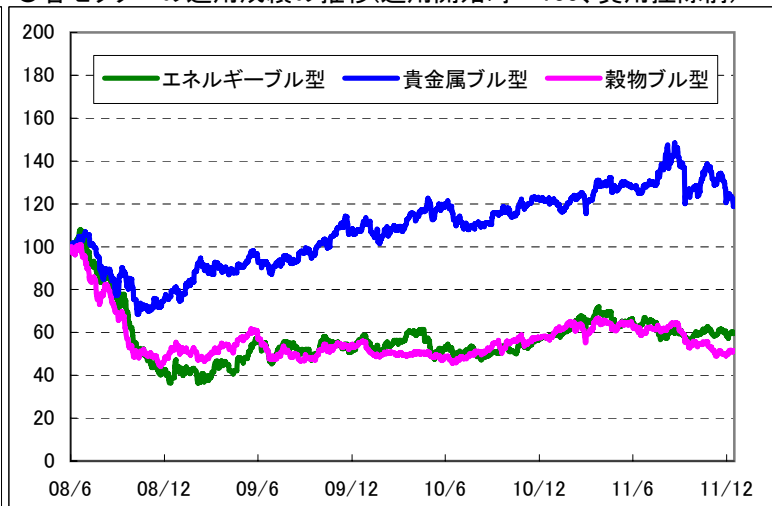
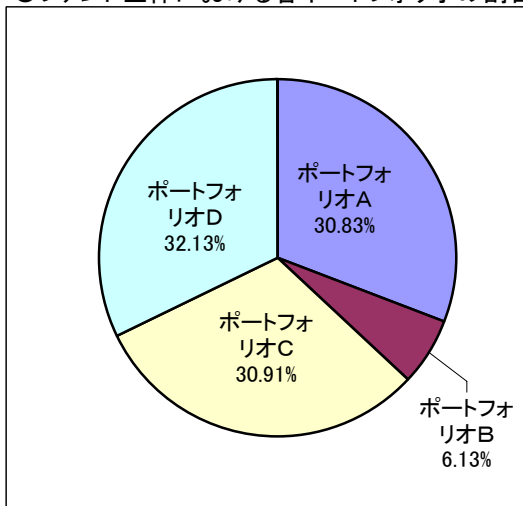
※ポートフォリオEは、2011年4月25日をもって繰上げ償還となりました。

●直近分配金の推移

ポートフォリオ	計算日				設定来累計
	2010/5/31	2010/11/30	2011/5/31	2011/11/30	
ポートフォリオA バランス重視ブル型	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
ポートフォリオB エネルギーセクター重視ブル型	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
ポートフォリオC 貴金属セクター重視ブル型	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
ポートフォリオD 穀物セクター重視ブル型	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

運用状況

●ファンド全体における各ポートフォリオの割合 ●各セクターの運用成績の推移(運用開始時=100、費用控除前)

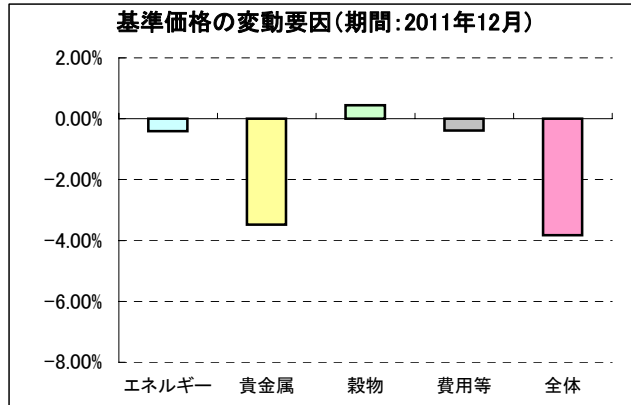
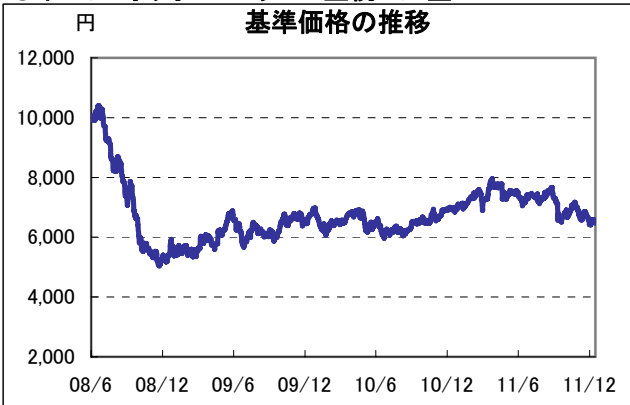


マイスターセレクト コモディティ戦略ファンド マンスリーレポート

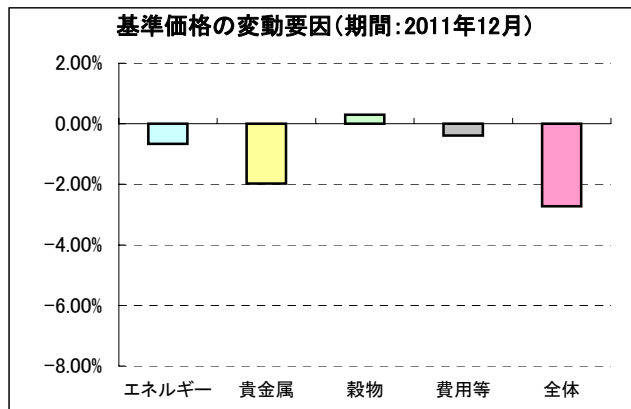
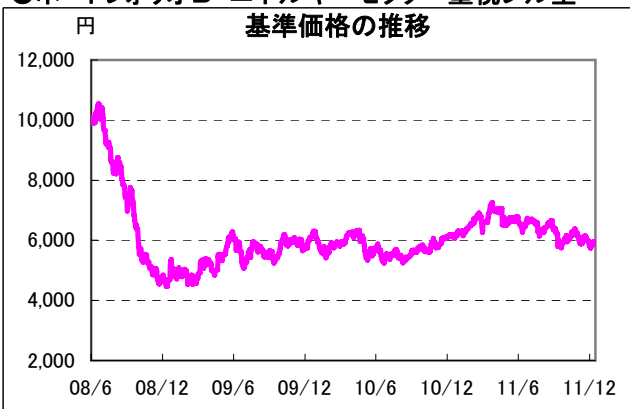
基準日: 2011年12月31日 作成日: 2012年 1月11日

ポートフォリオ毎の運用状況

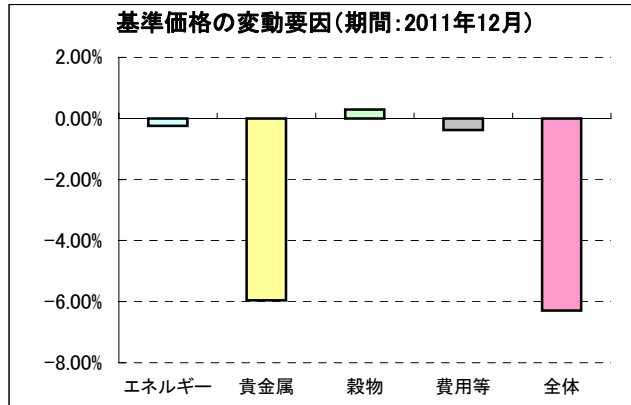
●ポートフォリオA バランス重視ブル型



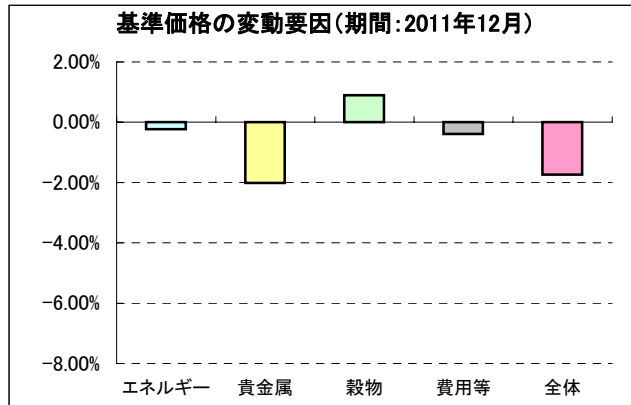
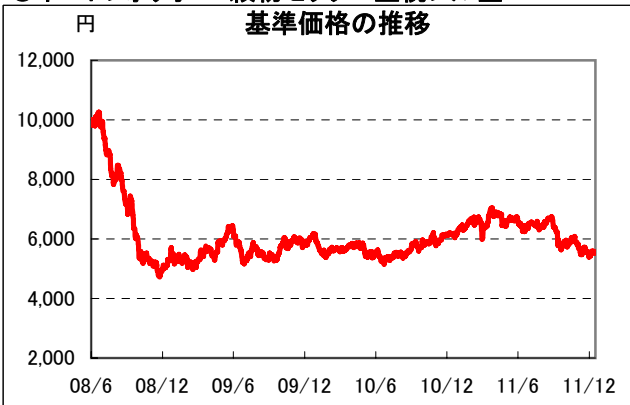
●ポートフォリオB エネルギーセクター重視ブル型



●ポートフォリオC 貴金属セクター重視ブル型



●ポートフォリオD 穀物セクター重視ブル型



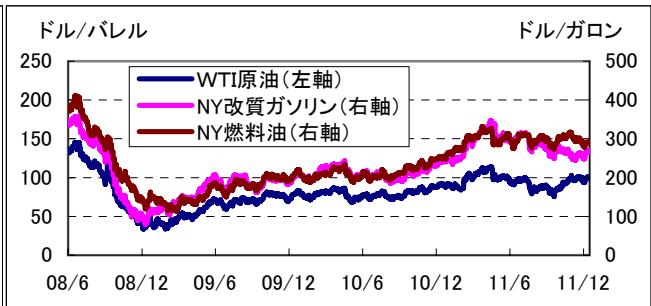
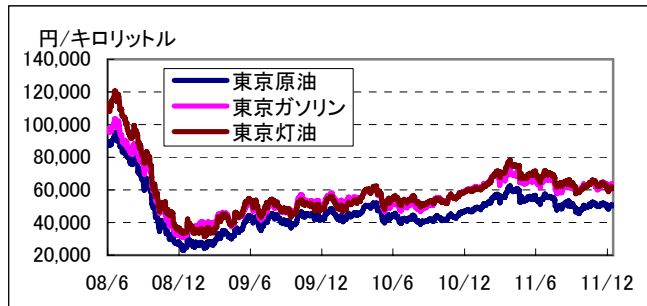
マイスターセレクト コモディティ戦略ファンド マンスリーレポート

基準日: 2011年12月31日 作成日: 2012年 1月11日

マーケットコメント (価格チャートは、全て2008年6月16日から上記基準日までの国内商品は期先、海外商品は期近のつなぎ足にて作成)

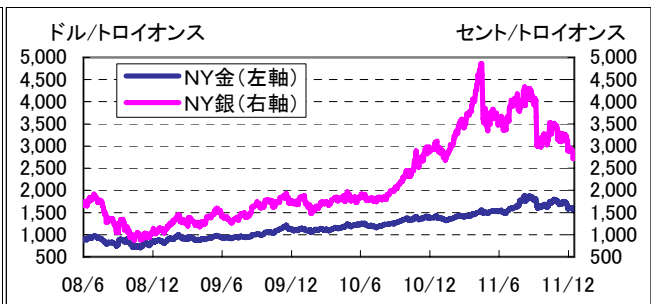
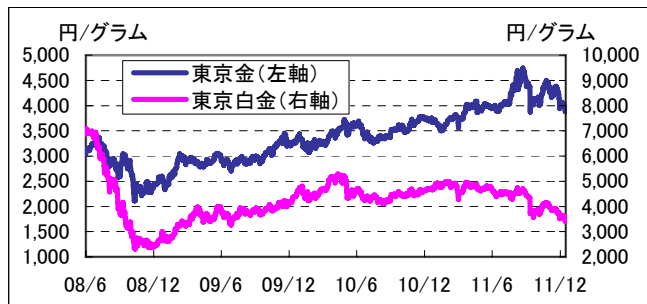
エネルギーセクター

原油相場は、欧米が対イラン制裁を強化しイラン原油の輸入削減方針が示されるなかで、WTIは当初100ドル超えでの推移となりました。月半ばには欧州の債務危機や中国の成長鈍化によるエネルギー需要の縮小見通し、ドル高を受けて一時92ドル台へ反落しましたが、米国経済の堅調さや、年末年始にかけてイランがペルシャ湾で軍事演習を実施したことで中東地域の地政学的リスクが懸念され、月末にかけては100ドル水準へ反発しました。NY市場の石油製品は、ガソリンがクリスマスシーズンの需要増加が見込まれ月末にかけて上昇、一方で暖房油は在庫水準が高いこともあって伸び悩みました。東京市場の原油、石油製品は、当初の高値から月半ばのNY原油の反落場面ですぐに追従安となりました。その後反発したものの、年末には現物市場の動きが停滞していることなどから動きが鈍くなり、月初めの水準に届かず越月しました。



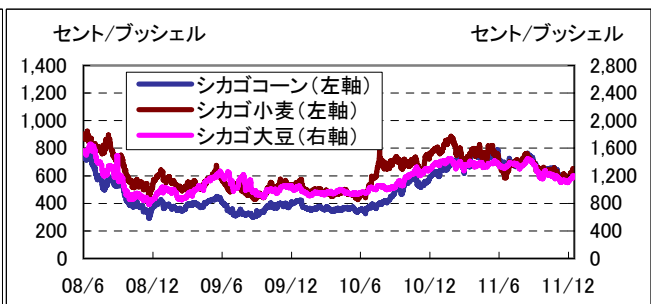
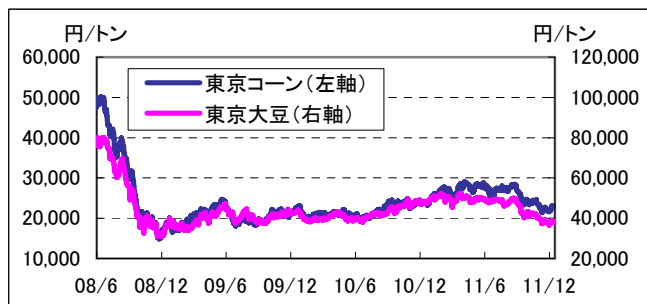
貴金属セクター

金相場は、月初高値の1,767ドルを高値に下落傾向となり、中旬の1,700ドル割れから失速し、1,500ドル前半の安値を経て1,566ドルで越月しました。欧州債務危機はEUサミットでも打開策が示されず、ユーロドル高傾向が続くなかで調整下落圧力が残りました。国内相場も海外相場安を映して下落傾向となりました。銀相場は、金の調整下落を映して、当初の32.5ドル水準から失速下落。30ドル割れを経て下旬には26ドル前半まで下落するなど、下落圧力が残りました。白金相場は、当初は1,560ドルからほぼ一貫した調整下落場面を継続しました。金相場の下落もあり1,500ドル割れに続いて1,400ドル割れとなり、下旬には1,300ドル台半ばの安値水準まで下落しました。自動車触媒素材の主要消費ゾーンである欧州景気の減速が地合の弱さにつながりました。国内相場も軟調地合となりました。



穀物セクター

穀物相場は、全般に月末にかけて上昇しました。トウモロコシは、欧州を中心とした景気減速による飼料向け需要の縮小見通しによる下落が580セント前後で一服していましたが、米国の不作に続き、現在生育が進むアルゼンチンでも高温乾燥による生産の下修正見通しが強まったことから、月末にかけて650セントへ上昇しました。大豆も需要縮小見通しで1,100~1,150セントの推移となっていました。南米の天候不良と他の穀物高を受けて1,200セントへ上昇。小麦は当初需給緩和見通しで下落傾向にあったものの、北半球の冬小麦産地の乾燥懸念や、トウモロコシ高を背景に月末にかけて上昇しました。東京市場では、月前半の下落傾向から月末にかけてはシカゴ市場の反発上昇に追従したものの上値が伸びず、大豆は36,000円を支持に当初と同水準の38,000円台へ、トウモロコシは22,000円割れを経て23,000円水準への反発にとどまりました。



マイスターセレクト コモディティ戦略ファンド マンスリーレポート

基準日:2011年12月31日

作成日:2012年1月11日

ポートフォリオ別資産配分状況

セクター	市場	銘柄名	ポートフォリオA	ポートフォリオB	ポートフォリオC	ポートフォリオD
エネルギー	国内	原油	6.35%	10.77%	3.69%	3.60%
	国内	ガソリン	19.91%	33.78%	11.57%	11.28%
	国内	灯油	9.60%	16.29%	5.58%	5.44%
	海外	WTI原油	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	海外	改質ガソリン	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	海外	燃料油	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
エネルギーセクター合計			35.87%	60.85%	20.83%	20.32%
貴金属	国内	金	27.57%	15.59%	48.05%	15.62%
	国内	白金	5.96%	3.37%	10.38%	3.37%
	海外	NY金	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	海外	NY銀	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
貴金属セクター合計			33.53%	18.96%	58.42%	18.99%
穀物	国内	コーン	21.76%	14.36%	14.75%	43.16%
	国内	大豆	8.84%	5.83%	5.99%	17.53%
	海外	シカゴコーン	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	海外	シカゴ大豆	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	海外	シカゴ小麦	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
穀物セクター合計			30.61%	20.19%	20.74%	60.69%

※表示未満の数値については四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

お申込にあたっての注意点

●リスクと留意点

当ファンドは、商品先物市場の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。元本や収益が保証されているものではありません。当ファンドは預金保険の適用はありません。当ファンドでは、異なる4種類のポートフォリオに投資することができます。各ポートフォリオとも、エネルギーセクター（日米の商品先物市場に上場されている原油、ガソリン、灯油等）、貴金属セクター（日米の商品先物市場に上場されている金、銀、プラチナ等）及び穀物セクター（日米の商品先物市場に上場されているとうもろこし、大豆、小麦等）に投資します。（※当ファンドの信託財産の減少に伴い日米両方の商品先物市場で運用を行うことが困難となっていることから、2010年6月1日より米国商品先物市場での運用を一時停止し、国内商品先物市場でのみ運用を行っております。）

ブル型のポートフォリオは、すべての商品に対して買いのポジションを持つため、商品先物市場で投資している商品の価格が下落した場合は損失発生の原因となります。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替レートの変動により純資産価額が増減（円高になる過程では価額の減少、円安になる過程では価額の増加）し、外貨建て資産の価値が減少した結果、損失が発生することがあります。当ファンドでは、ポートフォリオ毎に異なる商品ファンド関連受益権が発行されますが、信託契約等の規定に基づき各ポートフォリオは計算上区分されているに過ぎませんので、仮にひとつのポートフォリオの運用において当該ポートフォリオの信託元本を上回る損失が発生した場合は、他のポートフォリオの信託元本の全部又は一部が償還されないおそれがあります。このような事態が発生することを回避するため、各ポートフォリオにおける1口当たりの純資産価額が1口当たりの当初信託元本の30%を割り込んだ場合には当該ポートフォリオを繰上げ償還します。当ファンドはクーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は原則として直接他の投資家に転売・譲渡できません。契約締結前交付書面及び契約締結時交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

●手数料等について

参加手数料：申込金額の上限3.15%（消費税含む。税抜3.0%）金融商品取引業者により異なりますので、お問い合わせ下さい。

解約手数料：解約金額の1.0%

取次手数料：（国内先物取引）原則として1枚（往復）当たり上限1,500円（海外先物取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル

その他費用（実費）：①当ファンドの組成、維持及び清算に要する弁護士、公認会計士及び税理士費用並びに各種送金手数料

②監査に必要な公認会計士費用及び銀行残高報告書発行手数料③契約締結前交付書面、契約締結時交付書面、商品ファンド関連受益権販売契約書及び運用報告書等必要書類の作成費用及び発送費用

業務代行報酬、投資顧問報酬、取次手数料及びその他の費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

金融商品取引業者の概要

商号等：サン・キャピタル・マネジメント株式会社

登録番号：近畿財務局長（金商）第318号

本店所在地：大阪府大阪市中央区島之内一丁目13番3号

加入している金融商品取引業協会：

一般社団法人第二種金融商品取引業協会
社団法人金融先物取引業協会

取扱営業所名

サン・キャピタル・マネジメント株式会社

大阪府大阪市中央区島之内一丁目13番3号
管理部 06-4704-3460